

# 総務教育常任委員会資料

(令和元年11月29日)

## 【件名】

|  |    |
|--|----|
| ・令和元年度の障がい者雇用率の修正について（教育総務課）                                   | 1  |
| ・園外活動ルートにおける危険箇所の合同点検結果について（小中学校課）                             | 2  |
| ・第2回今後の高校教育の在り方を検討する会の開催結果について（高等学校課）                          | 3  |
| ・平成30年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の公表について（いじめ・不登校総合対策センター） | 4  |
| ・中学校トークプログラム「CHA <sup>3</sup> （チャチャチャ）プログラム」の実施結果について（社会教育課）   | 6  |
| ・鳥取県立美術館整備運営事業事業者選定に係る県民参加型公開プレゼンテーションの開催について（博物館）             | 9  |
| ・企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺 一明月来タリテ相照ラスー」図録の國華展覧会図録賞受賞について                | 10 |

教育委員会



## 令和元年度の障がい者雇用率の修正について

令和元年11月29日  
教育総務課

今年度の障がい者雇用率（6月1日現在）について速報値を8月に報告しましたが、その後労働局から算定方法に係る解釈が示され雇用率が大きく変動することになりましたので報告します。

### 記

#### 1 令和元年6月1日現在の障がい者雇用率

|       | 障がい者雇用率<br>(上段は速報値) | 障がい者数(実数)<br>(上段は速報値) |
|-------|---------------------|-----------------------|
| 教育委員会 | (2.40%)<br>2.16%    | (79人)<br>82人          |

※法定雇用率2.4%

※全国の確認値は厚生労働省が12月に公表予定。

<参考：障がい者雇用率の推移>

| 年 度   | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度(修正後) |
|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 教育委員会 | 2.74% | 2.60% | 2.55% | 2.16%     |

#### 2 障がい者雇用率が変動した原因

鳥取労働局へ速報値を報告後、労働局から算定方法に係る新たなQ&Aが示され算定対象となる職員(分母)が増加したため。

国のガイドラインでは、算定対象となる常時雇用する職員の定義を「任期を更新しない旨が明示されている場合であっても、類似する形態で雇用されている他の職員が1年を超えて引き続き雇用されている等の更新の可能性がある実態がある場合」としている。

→ 臨時的任用職員及び一部の非常勤職員については、任期が1年未満であり(更新はなし)、次年度に任用する場合でも1日～10日程度の空白期間を挟んで改めて任用しているため、上記に該当しないものとして除外していた。



新たなQ&Aでは、以下のとおり示され、これに沿って確認したところ数値の変動が生じた。

算定対象となる常時雇用する職員のうち「雇入れのときから1年を超えて引き続き雇用されると見込まれる者」について

- ・任期に多少の空白期間があっても引き続き雇用されるとみなす。
- ・更新の有無、試験の有無に関わらず、次年度も県で雇用される可能性があれば、引き続き雇用されると見込まれる。

⇒実質的に、基準日(6/1)に在職する全ての臨時的任用職員、非常勤職員を分母に算入する必要がある。

#### 3 今後の対応案

令和2年度に法定雇用率を達成できるよう以下により障がいのある職員の配置増を行う。

##### (1) 正職員の配置増

- ① 教育職員(教員、実習助手等)の別枠採用の推進
- ② 障がいのある正職員の再任用等の推進
- ③ 知事部局との人事交流等による事務職員の配置増

##### (2) 非常勤職員の配置増

- ① 学校における業務補助職員等の配置増(ワークセンターの拡大)
- ② 事務局における障がい者(図書館の精神障がい者等)の配置増
- ③ 教員業務アシスタント(働き方改革対応)の障がい者配置

# 園外活動ルートにおける危険箇所の合同点検結果について

令和元年11月29日  
 子育て王国課  
 道路企画課  
 小中学校課

今年5月に滋賀県大津市で発生した園外活動中の園児死亡事故を受け、6月下旬から9月末までの間、全国一斉に緊急安全点検（関係機関による合同点検）が実施されましたが、このたび、本県の調査結果をまとめました。

## 1 関係機関による合同点検の概要

### (1) 点検実施施設数

- 計247施設（5月に本県独自に実施した、施設による自己点検で「危険箇所あり」と回答のあった施設）

### (2) 対象施設種別

- 保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業所、認可外保育施設、特別支援学校幼稚部、児童発達支援（医療型を含む）事業所  
 （県独自に自己点検を行った国調査対象外の児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設のうち3施設についても別途、合同点検を実施。）

### (3) 調査の概要

- 自己点検結果で抽出した危険箇所のうち、各施設で対応可能な箇所を除き、保育施設・施設所管課（子育て王国課・市町村）・道路管理者・警察により合同点検を実施し、対策必要箇所の抽出と対策方針を策定した。

### (4) 調査結果

- 合同点検実施箇所数 792箇所
- 対策必要箇所数 290箇所 内訳 [ 対策済 24箇所（歩行者用信号時間調整等）  
今後対策予定 266箇所 ]

|                  | 合同点検実施箇所 | 対策必要箇所      |          |             |
|------------------|----------|-------------|----------|-------------|
|                  |          |             | 対策済      | 今後対策予定      |
| 全体               | 792      | 290         | 24       | 266         |
| 道路管理者<br>(うち県管理) | —        | 185<br>(74) | 0<br>(0) | 185<br>(74) |
| 警察               |          | 59          | 14       | 45          |

※自治会など上記以外の者が対策を実施する場合や、1箇所につき複数の対策を実施する場合がありますため、内数の合計値とは一致しない。

## 2 今後の対策

- 県管理道路における危険箇所のうち、特に緊急性の高い交差点部39箇所については9月補正予算で対応し、年度内の完了を目指している。9月補正予算対応以外の箇所についてはR2年度当初予算に向けて検討を進める。
- 国は保育施設周辺における散歩等の子どもの園外活動の安全を確保するため「キッズゾーン」を創設したところであり、今後の安全対策の検討にあたってはその設定も視野に入れて進める。

### [参考] 危険箇所の施設による自己点検（本県独自調査）について（5/13～31実施）

#### (1) 対象施設

保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業所、認可外保育施設、児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設 計311施設

#### (2) 自己点検調査項目

- 散歩ルート図の提出及び危険と思われる地点の抽出
- 危険と思われる地点の緊急度及び具体的な危険事項
- 危険箇所以外で園外活動において安全上必要と思われる設備

#### (3) 自己点検結果概要

- 危険箇所数：1038箇所
- 危険要因（主なもの）：歩道がない、歩道の防護柵がない、交通量が多い、横断歩道がない、信号がない

## 第2回「今後の高校教育の在り方を検討する会」の開催結果について

令和元年11月29日  
総合教育推進課  
高等学校課

少子化の一層の深刻化により教育環境が大きく変化することを踏まえ、県内の高等学校の教育の充実及び実施体制の確保に向けて、県立及び私立高等学校の今後の在り方について、県立又は私立の枠を越えて検討を行う第2回目の会議を以下のとおり開催しました。

1 日時 令和元年11月18日(月) 14:00~16:00

2 場所 県庁特別会議室

3 出席委員 13名(欠席3名)

多田憲一郎 鳥取大学地域学部教授(座長)、御船齋紀 倉吉東高等学校長、永野智之 米子南高等学校長、足立祥一 米子市立湊山中学校長、岡田頼昭 鳥取湖陵高等学校PTA会長、福本希美香 鳥取県PTA協議会理事、野田修 鳥取家政学園理事長、岩本恭昌 松柏学院理事長、近藤香織 米子松蔭高校保護者会長、横井司朗 鶏鳴学園理事長、小椋博幸 倉吉市教育委員会教育長、酒井信彦 県教育委員会事務局高等学校課長(代理出席)、木本美喜 県子育て・人材局長

4 会議の概要

各委員へ「今後、子どもの数が減少することで、本県の高校教育において想定されること」について次の観点で事前に意見を提出いただき、その結果をもとに意見交換を行いました。

- ・生徒、保護者及び学校にとってのそれぞれのメリット・デメリット
- ・上記以外に考えられること

《主な意見》

- 生徒数減少により学校やクラスの規模が小さくなった場合、それぞれの生徒に目が行き届く、あるいは保護者との連携も取り易いというメリットが考えられる一方、子どもたちの人間関係が狭まり価値観が広がらないという負の側面も考えられる。やはり多様な価値の中で自分を作っていくことが必要ではないか。子どもたちが様々な場面に接することのできる機会の提供などの工夫も必要。
- 学級定員が変わらない状態で、定員割れが続くと、学級数の減や学校の統廃合につながり、選択肢が減る。学校の選択肢が少なくなるようだと鳥取県の高校教育に魅力がなくなる。
- 他県においては、学級定員を減らさない、あるいは高校の数を減らさないといった取組が見られる。
- 人材の育成という観点から農林水産や情報の学科は県立で一定程度配置し、私立はそれぞれの特徴を持ってやっていくといった、鳥取県の高校教育全体のデザインの中で考えていくべき。
- 子どもの数全体が縮小していく中で公私比率を守っていても双方が縮小していただだけである。これからは、公私比率にとらわれず、お互いが特色を出し、競い合っていくべきではないか。
- 生徒減によりどのような教育体制が作れるのか、部活の在り方や教員の働き方など、根本的に変える契機としたい。
- 県立私立共通の教育課題である、特別支援や不登校などに関する対策について、県立と私立が協同して取り組んではどうか。
- 県内の中学卒業生に対する県立・私立の募集総枠の割合を大まかに設定し、県外から募集する生徒の部分についてはそれぞれの経営努力の問題であり、枠外とすれば良いのではないか。

5 今後のスケジュール

第3回目の会議(年明けに開催予定)では、このたびの議論をさらに深めた上で全体の意見等を取りまとめ、教育審議会、私立学校審議会、及び総合教育会議等に報告することを予定しています。

平成30年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の公表について  
 令和元年11月29日  
 いじめ・不登校総合対策センター

文部科学省による、平成30年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果が公表されました。

本県の状況として、いじめに関しては、小・中・高等学校で前年度より認知件数が増加しています。特に小・中学校での増加は著しく、各学校において、法律の定義に則した組織的ないじめの認知及び対応がなされるようになり、早期支援が進んでいると捉えています。

不登校に関しては、平成29年度と比べ、小学校は65人増加（出現率（※）は0.22%上昇）、中学校は21人増加（出現率は0.19%上昇）、高校は25人減少（出現率は0.14%低下）しています。不登校の要因は学校環境、家庭環境、本人要因が複雑に絡み合っており、支援が難しくなっている状況があります。

暴力行為に関しては、発生件数は中・高等学校では前年度より減少していますが、小学校では大幅に増加しています。また、小・中・高等学校ともに、生徒間暴力の割合が高くなっています。

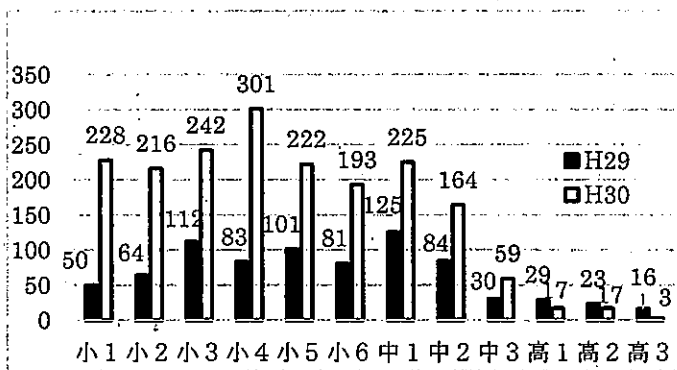
（※出現率：児童生徒100人あたりの不登校児童生徒数）

1 いじめの状況について

(1) いじめの認知件数の推移（国公立）（件）

| いじめ     |         | H26  | H27  | H28  | H29  | H30   |
|---------|---------|------|------|------|------|-------|
| 鳥取県     | 小       | 264  | 270  | 301  | 517  | 1,432 |
|         | 中       | 187  | 179  | 185  | 242  | 461   |
|         | 高       | 38   | 33   | 68   | 45   | 59    |
|         | 特       | 63   | 63   | 40   | 40   | 26    |
|         | 計       | 552  | 545  | 594  | 844  | 1,978 |
|         | 認知件数/千人 | 8.7  | 8.7  | 9.6  | 13.8 | 32.6  |
| 認知件数/千人 | 13.7    | 16.5 | 23.8 | 30.9 | 40.9 |       |

(2) 学年別いじめの認知件数（公立のみの独自調査）（件）



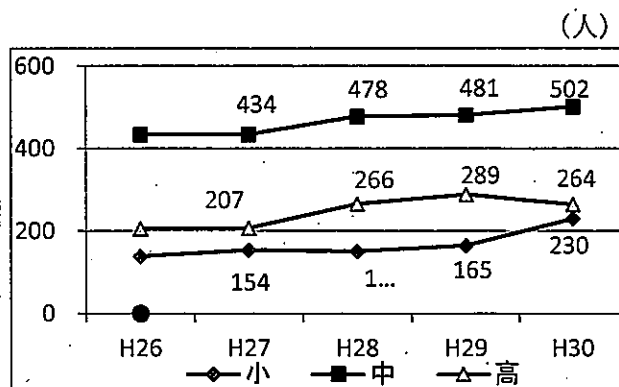
(3) いじめに関する分析と対応

- 前年度認知が少なかった小学校低学年における認知数も増加しており、学年の低い段階からいじめを積極的に認知し、対応が進んでいると考えられる。
- 9月に策定した「鳥取県いじめ対応マニュアル」に基づき、学校関係者等を対象にいじめに関する行政説明会で適切ないじめ対応について周知するとともに、引き続きいじめの積極的な認知、適切な組織対応等について学校の理解を進める。

2 不登校等の状況について

(1) 不登校児童生徒数の推移（国公立）（人）

| 不登校 |   | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|-----|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 鳥取県 | 小 | 139 | 154 | 151 | 165 | 230 |
|     | 中 | 434 | 434 | 478 | 481 | 502 |
|     | 高 | 206 | 207 | 266 | 289 | 264 |



(2) 不登校出現率(国公立) (%)

| 不登校出現率 |     | H26  | H27  | H28  | H29  | H30  |
|--------|-----|------|------|------|------|------|
| 小      | 鳥取県 | 0.45 | 0.51 | 0.51 | 0.56 | 0.78 |
|        | 全国  | 0.39 | 0.42 | 0.48 | 0.54 | 0.70 |
| 中      | 鳥取県 | 2.65 | 2.69 | 3.02 | 3.10 | 3.29 |
|        | 全国  | 2.76 | 2.83 | 3.01 | 3.25 | 3.65 |
| 高      | 鳥取県 | 1.34 | 1.35 | 1.73 | 1.90 | 1.76 |
|        | 全国  | 1.59 | 1.49 | 1.47 | 1.51 | 1.63 |

(3) H29→H30の出現率の比較(%)

|     | 小     | 中     | 高     |
|-----|-------|-------|-------|
| 鳥取県 | +0.22 | +0.19 | -0.14 |
| 全国  | +0.16 | +0.4  | +0.12 |

出現率の増加を全国と比較すると、小学校で全国平均以上の上昇であった。

(4) 本県における不登校対策の取組

- ①「教育相談体制充実のための手引き」に基づく校内組織体制の構築に向けた取組
  - ・未然防止、早期発見及び早期支援に重点を置いた体制づくり
  - ・スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー等の専門家や関係機関と連携した組織的対応
  - ・課題の要因や背景に目を向けた具体的な支援
- ②個々の児童生徒の状況、要因・背景に基づいた具体的支援(「ケース会議マニュアル」の活用)
  - ・アセスメント(見立て)とプランニング(具体的な手立て)に基づく児童生徒支援の推進
  - ・気になる児童生徒を早期から把握する取組(スクリーニング)
- ③学校への登校が難しい児童生徒の居場所づくり、学びの場の確保
  - ・教育支援センター、フリースクールと連携した連絡会の開催等による支援の充実
  - ・ICTによる自宅学習支援事業による、学びの機会の提供

(5) 不登校対策に係る今後の取組

- ①不登校の要因・背景の詳細な調査及び分析の実施
  - ・不登校支援のための、「学校環境」「家庭環境」「本人の困り感」の視点による児童生徒理解の推進
- ②専門家や福祉部局等との連携による総合対策の推進
  - ・家庭、保護者支援に向けた取組の推進

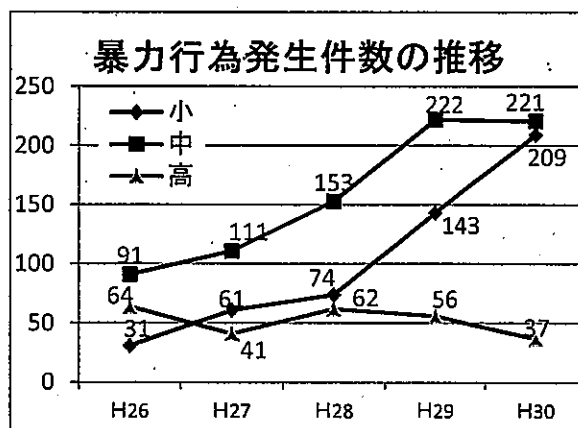
3 暴力行為の状況について

(1) 鳥取県の暴力行為の発生件数の推移(国公立)

(件)

| 暴力行為 |         | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | 前年比<br>増減 |
|------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
| 鳥取県  | 小       | 31  | 61  | 74  | 143 | 209 | 66        |
|      | 中       | 91  | 111 | 153 | 222 | 221 | -1        |
|      | 高       | 64  | 41  | 62  | 56  | 37  | -19       |
|      | 計       | 186 | 213 | 289 | 421 | 467 | 46        |
|      | 発生件数/千人 | 3.0 | 3.5 | 4.7 | 7.0 | 7.8 | 0.8       |
| 全国   | 発生件数/千人 | 4.0 | 4.2 | 4.4 | 4.8 | 5.5 | 0.7       |

(件)



(2) 暴力行為に関する分析と対応について

小学校の暴力行為の増加、生徒間暴力の割合が大きいことは、いじめの積極的な認知が進んでいるため、併せて生徒間暴力として報告されていることによると考えられる。同じ児童生徒が繰り返すことはないか、行為に至る要因は何かなどを理解した組織的な対応を行う。

# 中学校トークプログラム「CHA<sup>3</sup>（チャチャチャ）プログラム」の実施結果について

令和元年11月29日

社会教育課

中学校トークプログラム「CHA<sup>3</sup>プログラム」を下記のとおり実施しましたので、報告します。

## 1 事業の趣旨・目的

- 地域の大人、大学生、中学生がグループになり、働き方や生き方などのテーマについて自由に話し合うことを通して、中学生が自分たちの地域で活躍する大人の多様な価値観を知り、社会への興味・関心を高めるとともに、少し先の目標を考えることができるようになる。
- 地域の大人や大学生が、中学生と本音で語り合う機会を通じて、地域の学校や子ども達に対する関心を高める。

### ◆CHA<sup>3</sup>プログラム

地域の方やちょっと身近な大人（大学生）と出会う機会（Chance）をつくり、大人や大学生と本音で語り合い、多様な価値観と出会うことで、自分を変え（Change）、少し先の目標を持つとともに、様々なことに挑戦（Challenge）する態度を養うためのトークプログラム

## 2 プログラムの概要

7～8名程度の中学生・地域の大人・大学生で構成するグループ内で、自己紹介の後、司会が提示するトークテーマ（※）について、自身の答えを手元の紙にキーワードで書き、一斉にオープンして互いの答えについて自由に話し合った（約2時間。前・後半でメンバー入れ替え）。

大学生はグループ内のファシリテート役として、対話を盛り上げ、中学生・大人の意見を引き出すとともに、中学生に近い先輩として自らの経験・考えも話した。

（※）トークテーマ例

「働くってどういうこと?」「どんな大人になりたい?」など6テーマ程度。

なお、大学生には事前研修を、地域の方には当日事前ガイダンス（約1時間。大学生も参加）を実施し、本プログラムのねらいの伝達・トークの練習等を行った。



## 3 実施状況

| 地域 | 実施日程                     | 実施校・学年            | 参加人数                             |
|----|--------------------------|-------------------|----------------------------------|
| 西部 | 9月17日（火）<br>14:00～15:50  | 米子市立美保中学校<br>2年生  | 106名<br>（中学生53名、地域の大人24名、大学生29名） |
| 中部 | 10月21日（月）<br>13:40～16:00 | 琴浦町立赤碕中学校<br>2年生  | 93名<br>（中学生46名、地域の大人32名、大学生15名）  |
| 東部 | 11月12日（火）<br>13:35～15:45 | 鳥取市立千代南中学校<br>2年生 | 65名<br>（中学生34名、地域の大人23名、大学生8名）   |

※上記以外に、西部地区において島根大学との連携事業として伯耆町立岸本中学校（7月13日）・溝口中学校（2月予定）、境港市立第二中学校（9月28日）においても同様のプログラムを実施（予定を含む）

## 4 実施結果

### （1）中学生

生徒に対するアンケートでは、すべての項目においてプログラム実施後の肯定的回答が実施前を上回り、これまで鳥取県の生徒の課題とされてきた自己肯定感、将来の夢や目標、地域に対する愛着・貢献意識の向上に効果が見られた。詳細は別添のとおり。

「私には良いところがあると思う」 事前 54.1% → 事後 75.4% (21.3ポイント増)

「大人になるのが楽しみだ。または、働くことが楽しみだ」

事前 57.4% → 事後 79.9% (22.5ポイント増)

「地域で起こっている問題や出来事に関心がある」 事前 55.2% → 事後 76.8% (21.6ポイント増)

「地域をよりよくするために何をすべきか考えたいと思う」

事前 64.9% → 事後 79.9% (15.0ポイント増)





### 《感想（アンケート自由記述より）》

・最初はとても緊張したが、どんどん楽しくなりもっと他の人の意見を聞きたい、自分も話したいと思えるようになった。これからは地域のことや自分のことについて考えてどんどん人と話していきたい。

・今日の授業で初めて、人と関わるのってこんなに楽しいんだと知りました。

- ・大人になっても夢や目標があることを知り、私も自分の夢に向かって頑張りたいと思った。
- ・地域の方と向き合って改めて考えてみて、人によって大切にしている要素や人柄は別々で、その中でどういう大人になりたいかを自分と向き合って考えることができてよかった。
- ・緊張したけど、大人になるのが楽しみになった。今後は地域の方と話をしたり、どんどん積極的に声をかけていきたいです。
- ・地域の方や大学生の話はわかりやすく深い話で、とても納得できた。自分の進路や将来について詳しく話すことができ、とてもよい体験だった。もう一度したい！
- ・私は人前に出るのが苦手に思ったりするが、自分らしくていいんだと思えた。自分を前向きにしてくれるプログラムだと思う。
- ・大人の地域に対する愛が深いこと、地域をもっとよくしたいという目標があることが分かった。笑いながら話すことができてよかった。
- ・自分の意見をどうどうと言えたので自信を持ちたい。素晴らしい体験をありがとうございました。また、やってみたいです！！

### (2) 地域の大人・大学生

アンケートに回答した全員（地域の大人 72 名、大学生 49 名）がプログラムを「良かった」と評価し、「また参加したい」とした方がほとんどだった（地域の大人 94%、大学生 98%）。

地域の方にとって普段接する機会の少ない中学生と話すことで学校や生徒に対する関心を高める機会となるとともに、大学生も含め一体感と相互の学びにつながった。

### 《地域の大人の感想（アンケート自由記述より）》

- ・話し考え、また話すことで参加者が一つになることができた。学びあうプログラムであった。
- ・中学生、大学生、地域の方が話すことがないので、とても良い時間になった。それぞれの立場から生きるヒント、人生で大切なことを学ぶことができ、有意義な時間だった。
- ・中学生がしっかりとした考えを持っていて感心した。長い人生の中のどこかでこのプログラムが何かの役に立てればと思った。
- ・普段中学生と接する機会がないので、考えていることや、雰囲気が見られてよかった。
- ・とてもよい機会だった。是非毎年開催してもらいたい。

### 《大学生の感想（アンケート自由記述より）》

- ・大人の方は、自分の経験をもって、さらに成長したいと思わせるような意見を出してくれた。中学生は、言葉が詰まっても必死に考えようとしてくれていた。良い活動になった。
- ・中学生が大人の話聞いて、将来のことを考えている姿がとても良かった。中学生の学びの場であるが、自分の学びにもなった。
- ・たくさん話してくれる中学生もいて、とてもいい場になった。大人の方の話が勉強にもなり、貴重な経験になった。私が中学生の時にもこのような場があればよかった！！
- ・知らない者同士、社会人と学生が中学生のために言葉を選び考えるところがとてもあたたかかった。中2はしっかりと言葉をもっている。引き続きずっと、同じ学年の子たちと関わり続けて向き合ってみようと思った。
- ・全体的に熱量のある場で、素直な思いや夢を語り合えて、自分自身がとても楽しめた。今日のこの気持ちを忘れず、地域社会のために働ける大人になりたい。

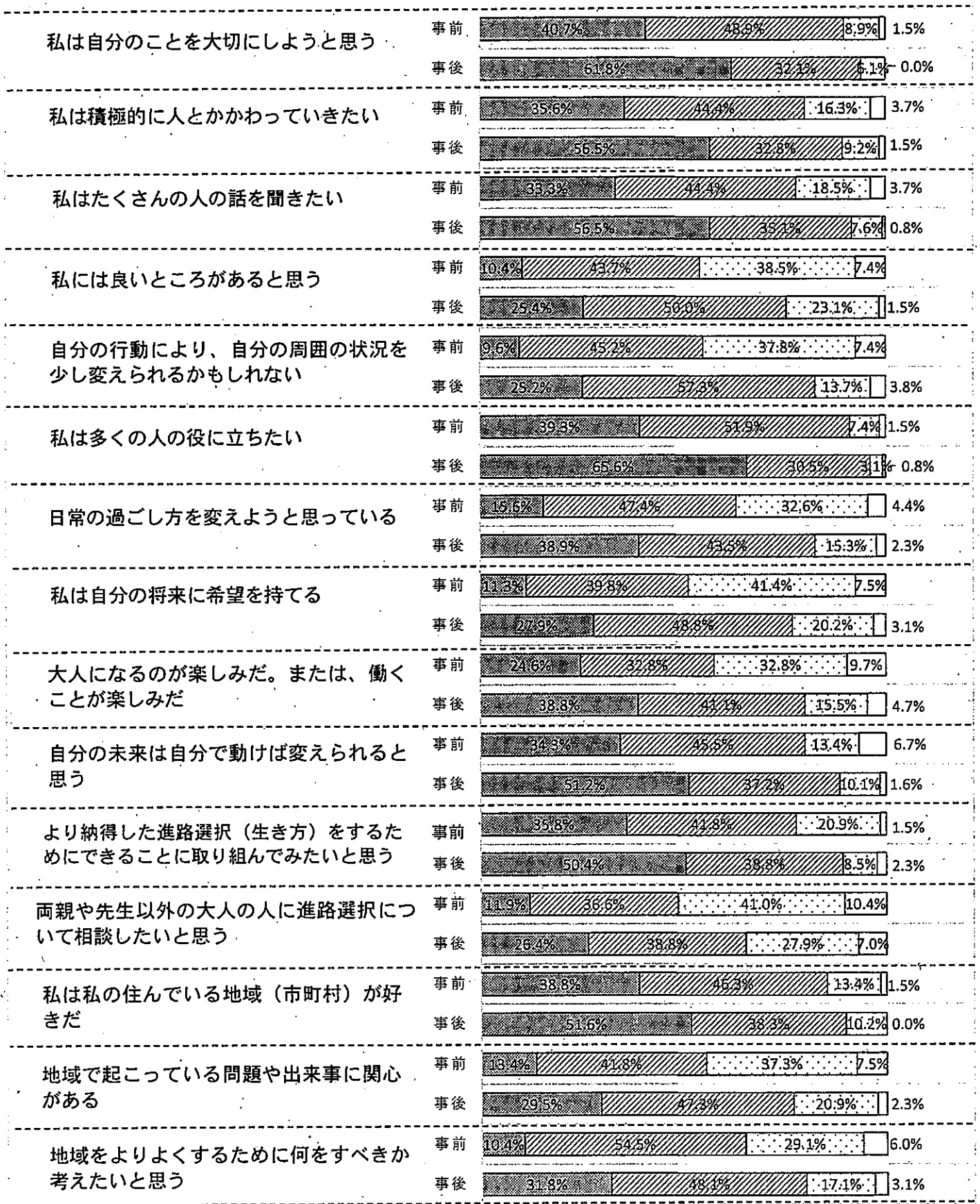


### 5 今後の方向性

市町村教育委員会や学校、地域の方から次年度のプログラム実施を強く希望する声もあり、次年度以降実施校数を増やして実施していきたい。

## 中学生のアンケート結果（3校合計）

■とてもそう思う □まあそう思う □あまりそうは思わない □全くそうは思わない



# 鳥取県立美術館整備運営事業事業者選定に係る県民参加型公開プレゼンテーションの開催について

令和元年11月29日  
博 物 館

鳥取県立美術館整備運営事業のPFI事業者選定に係る県民参加型公開プレゼンテーションを開催することとし、参加申込みを開始しますので、その概要等について報告します。

## 記

### 1 開催日時

令和2年1月9日(木) 10時から(概ね午前中を予定)

### 2 開催場所

鳥取県立倉吉未来中心 小ホール(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)

### 3 参加(傍聴)手続き(事前申込制)

郵送・ファクシミリ・電子メールのいずれかで「参加(傍聴)申込書」を送付、申し込みが参加(傍聴)定員を超えた場合には、抽選により参加(傍聴)者を決定する。(詳細は県ホームページ等で周知)

申込期間:令和元年12月2日(月)から20日(金)まで

### 4 進め方等

- ・入札参加者が1者ずつ、事前に提出した提案書の内容について説明
- ・同日午後、審査会委員による提案内容全般にわたる事業者ヒアリングを非公開で実施
- ・公開プレゼンテーション参加者(傍聴者)を対象としたアンケートを実施

### 5 今後のスケジュール

- |             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| 令和元年11月29日  | ・入札書及び提案書の受付締切                |
| 令和2年1月9~10日 | ・県民参加型公開プレゼンテーション・事業者ヒアリング・審査 |
| 令和2年1月中旬    | ・落札者の決定・公表                    |
| 令和2年3月      | ・事業本契約の締結(議会議決)               |
| 令和2年前半~     | ・設計及び建設工事・開館準備                |
| 令和6年度中      | ・開館                           |

(参考)鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会(美術館整備運営事業)委員

| 氏名     | 役職等  |
|--------|--|
| 林田 英樹  | 日本工芸会理事長、元文化庁長官、基本構想検討委員会会長、アドバイザー委員会座長      |
| 衣笠 幸雄  | TBSテレビ社長室顧問、前TBSサービス社長、基本構想検討委員会委員           |
| 山梨 俊夫  | 国立国際美術館館長、前神奈川県立近代美術館館長                      |
| 佐治 ゆかり | 郡山市立美術館館長、美術館連絡協議会理事                         |
| 光多 長温  | 都市化研究公室理事長、元鳥取大学地域学部教授                       |
| 堀越 英嗣  | 芝浦工業大学建築学部長、(株)堀越英嗣 ARCHITECT 5 代表、元鳥取環境大学教授 |
| 遠藤 由美子 | 公立鳥取環境大学副学長、環境学部教授(建築専門)                     |
| 根鈴 智津子 | 倉吉市教育委員会事務局文化財課長                             |
| 池上 祥子  | 鳥取県地域づくり推進部文化振興監兼文化政策課長                      |

企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺 一月来タリテ相照ラスー」図録の國華展覽会  
 図録賞受賞について

令和元年11月29日  
 博 物 館

当館が昨年度に開催した企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺一月来タリテ相照ラスー」の展覽会図録が第31回国華展覽会図録賞（主催：國華社・朝日新聞社）を受賞したので報告します。

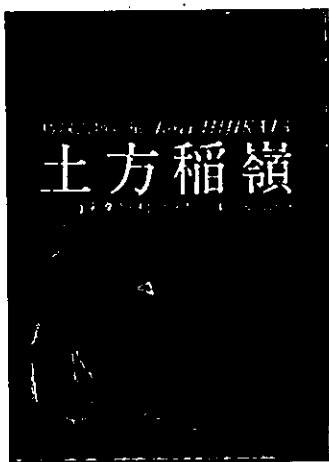
- 國華賞は明治22年に岡倉天心らによって創刊された雑誌『國華』の創刊100周年を記念して創設された賞であり、日本美術研究に関する最も権威ある賞として知られています。
- 第31回国華賞は根立研介氏（京都大学教授）を委員長とする12名の國華賞選考委員によって選考され、以下のとおり決定されました。

| 賞名           | 受賞者   | 対象となった業績                      | 出版社      | 出版年   |
|--------------|-------|-------------------------------|----------|-------|
| 國華賞          | 奥 健夫  | 『仏教彫像の制作と受容<br>—平安時代を中心に—』    | 中央公論美術出版 | 令和元年  |
| 國華展覽会<br>図録賞 | 山下真由美 | 「鳥取画壇の祖 土方稲嶺<br>—一月来タリテ相照ラスー」 | 鳥取県立博物館  | 平成30年 |

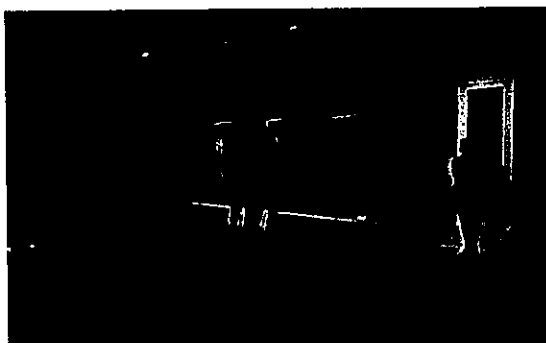
- 授賞式は10月24日（木）に朝日新聞東京本社新館レセプションルームで開催されました。
- この展覽会は美術館連絡協議会の2018年美連協大賞「奨励賞」（美術館表彰）も受賞しており、ダブル受賞となりました。

【展覽会図録】

- ・2018年（平成30年）10月6日から11月11日まで鳥取県立博物館で開催した企画展「鳥取画壇の祖 土方稲嶺一月来タリテ相照ラスー」の図録。
- ・土方稲嶺の作品を中心に125点をカラーで掲載し、全作品の作品解説及び落款の変遷の情報も加えた。



【展覽会の様子】



【朝日新聞 2019. 10. 4】

